



中能生小だより

～教育目標 学びあい 助けあい 鍛えあい～

令和5年9月5日
糸魚川市立中能生小学校
令和5年度 No. 5

学校評価アンケート（1学期）の結果より

1学期末に、児童と保護者の皆様から回答していただきました学校評価に関わるアンケートの結果（一部抜粋）をお知らせします。①②③④はグランドデザインに明記した評価項目及び目標値です。〈成果・課題〉〈方策〉は、校内学校評価委員会で話し合い、全職員で取り組むこととした内容です。



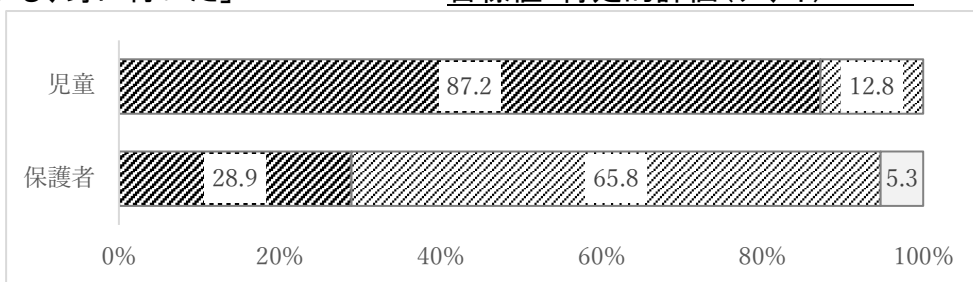
教育目標「学びあい」 ～進んで 分かりやすく表現する子～

☑ア.とてもそう思う ☑イ.そう思う □ウ.あまり思わない ■エ.全く思わない

①「学習したことが分かる、身に付いた」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 85%

児童 100.0%◎

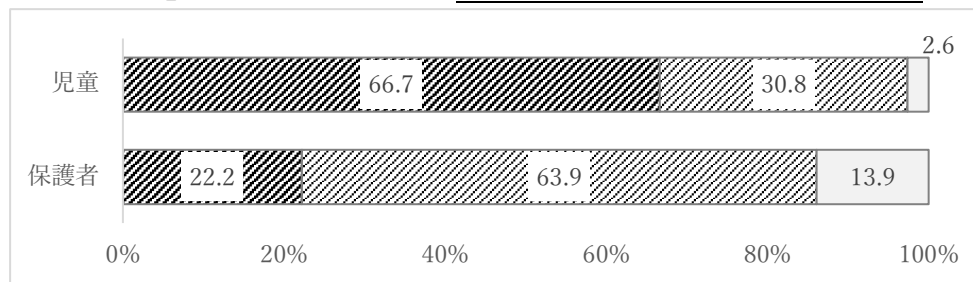
保護者 94.7%◎



②「進んで考えわかりやすく伝えた」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 85%

児童 97.4%◎

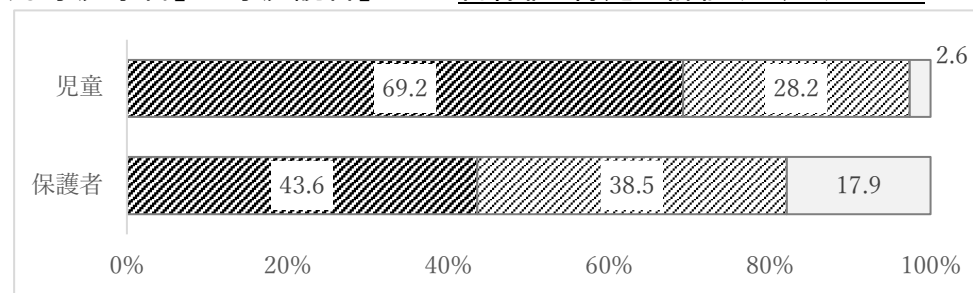
保護者 86.1%◎



③「学年×10分+必要な家庭学習」と「家庭読書」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 85%

児童 97.4%◎

保護者 82.1%△



<成果・課題>

○各教師の熱意・創意工夫により、目標値を上回る結果になった。

△家庭学習の実施について、保護者アンケートの結果が目標値に達しなかった。

<方策>

- ・ア（とてもそう思う）の数値向上をめざして、業者テストや学習指導改善調査、WEBテスト結果分析を生かして、指導改善にあたる。
- ・できたこと、できるようになったことは、大いに褒め、児童に自信を付けさせる。
- ・家庭学習に関わって、自主学習のやり方指導やカードの創意工夫を行い、自主学習への取組に対する意欲喚起や内容の充実を図る。
- ・自主学習に取り組んだことによる成功体験が味わえるような活動を計画し実施していく。

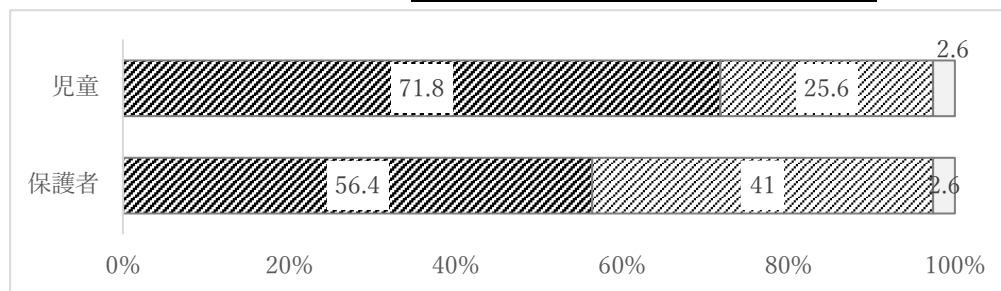
教育目標「助けあい」 ～相手を思いやり 進んで考動する子～

☑ア.とてもそう思う ☑イ.そう思う □ウ.あまり思わない ■エ.全く思わない

①「学校に行くことを楽しみにしている」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 90%

児童 97.4%◎

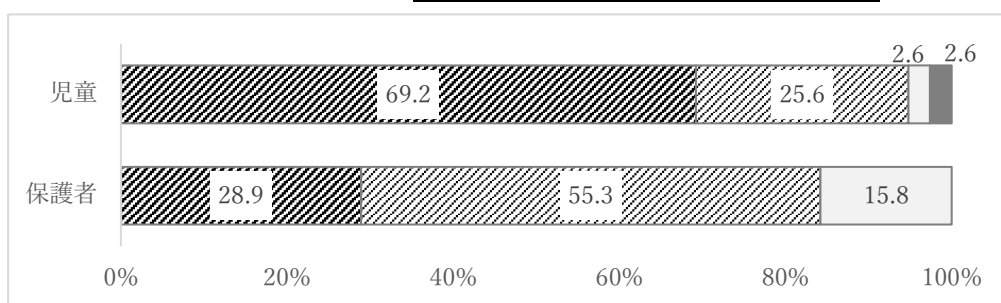
保護者 97.4%◎



②「進んで挨拶や返事をしている」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 85%

児童 94.9%◎

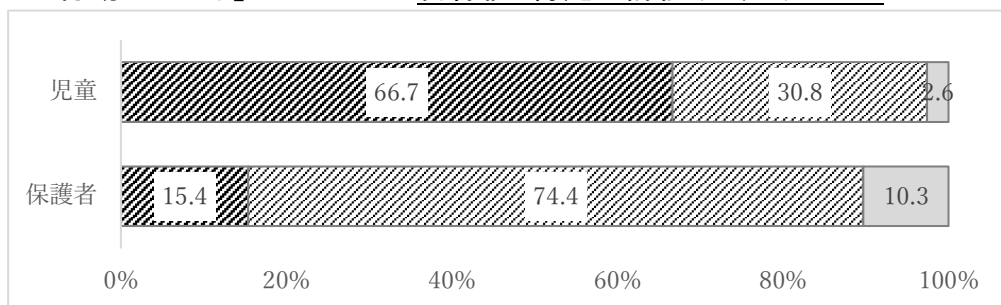
保護者 84.2%△



③「相手の気持ちを考えて行動している」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 80%

児童 97.4%◎

保護者 89.7%◎



<成果・課題>

- 肯定的評価が多く、子どもが安心できる環境づくりができています。
- 地域や校外学習で、自然に挨拶ができるようになってきた。
- 友だちと声を掛け合い、友だち同士で遊ぶようになってきた。
- △挨拶や返事について、保護者アンケートの結果が目標値に達しなかった。

<方策>

- ・よい姿を可視化したり、よい行動をしている児童を褒めたりして、自信がもてるようにする。
- ・児童がお互いよいところを見つけたり、伝え合ったりする場面を多く設定する。
- ・あいさつ強調週間で、「自分から」を意識した取組と振り返りを実施する。あいさつカードや学級・学校だよりを通して学校でのよい姿を家庭や地域に伝える。
- ・人権教育、同和教育の授業を確実に実施し、児童の人権感覚を高めていく。

今回、保護者の皆様に「お子さんに、進んで挨拶や返事をするように伝えているか」についても回答していただきました。「伝えている」と回答した保護者のお子さんは、「進んで挨拶や返事をしている」と回答した子が多く、保護者の声掛けと児童の行動・意識に相関関係がみられました。大人からの声掛け、そして、まずは大人が手本になることが大切です。



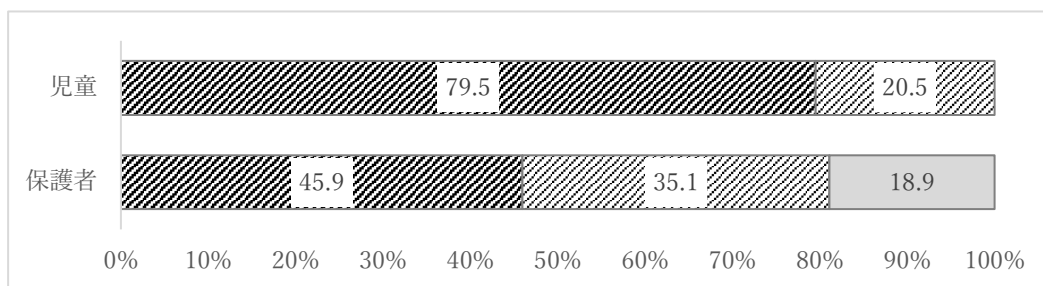
教育目標「鍛えあい」 ～めあてを決め 進んで健康な生活をする子～

☑ア.とてもそう思う ☑イ.そう思う □ウ.あまり思わない ■エ.全く思わない

① 「体を動かして遊んだり、運動したりすることが好き」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 80%

児童 100%◎

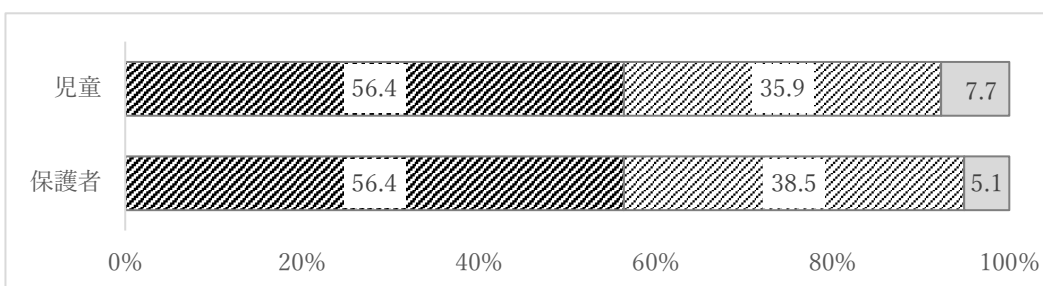
保護者 81.1%◎



② 「自分の体を知り、めあてをもって取り組んでいる」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 80%

児童 92.3%◎

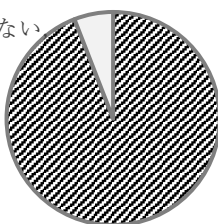
保護者 94.9%◎



③ 個の体力テストの結果が前年度を維持または向上する児童 目標値: 90%

児童 94.1%◎

維持・向上しない
5.9%



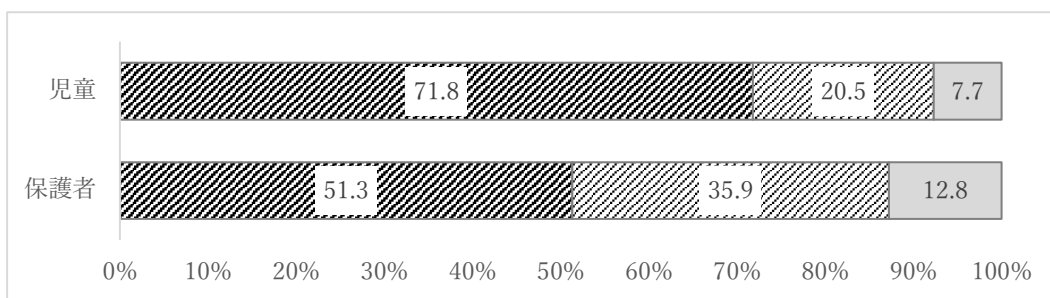
維持・向上した
94.1%



④ 「家族で決めた就寝時刻を守っている」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 90%

児童 92.3%◎

保護者 87.2%△



<成果・課題>

○「つくしっこタイム」の実施や運動用具の充実など運動環境が整っていることがよい評価につながっている。

○体力テストでは、個人カードに昨年度の記録を記入して、目標をもって取り組んだ。

△就寝時刻について、保護者アンケートの結果が目標値に達しなかった。

<方策>

- ・マラソンや縄跳びのカードを作成し、子どもたちが意欲をもって取り組めるよう工夫する。
- ・学校保健委員会で3～6年生が取り組む柔軟運動を、低学年にも伝えて全校で柔軟性を高め、体力向上を図る。
- ・就寝時刻を含む生活リズムについて、個人の様子を確認し、意識の啓発や家庭との連携に努める。
- ・養護教諭による保健指導を継続的に行い、健康で規則正しい生活習慣の確立に努める。

＜保護者自由記述より「子どもが成長したと感じるところ」一部抜粋＞

【学習面】

低：授業参観の様子を見ると、先生の指示にしたがったり、大きい声で返事をしたりしていた。

低：宿題の内容を、自分で確認しながら進められるようになってきた。

中：お休みした時に授業が進んで、一時的についていけなくなって焦っていたこともありましたが、自分でドリルをしたり教科書を何度も読み返したりしてみることで理解できたようです。自主学習の習慣がついてきているからこそ、自分で学習の仕方を考えることができたのかなと思いました。

中：自分から勉強をするようになりました。宿題も言われる前に終わらせていて、昨年度より成長を感じます。

高：勉強面でも習い事がありながら、自分なりに両立して取り組んでいました。

高：自分の考えをしっかりとって行動していると思う。

【生活面】

低：動物のお世話を通してヤギが今どんな気持ちなのか、どうしたら心地よく過ごせるかを考え、友達と話し、積極的に行動に移すことができるようになった。

低：一人でアルミ缶回収に行けたり地域の人と関わったりできるようになった。

中：目標に向かって、自分でできることを進んでやるようになったことが成長したと感じます。

中：委員会の活動をがんばっています。

高：周りのことを見れるようになったと思います。相手のことを考えたり、役に立とうとしたりしている。(自分のやりたいお手伝いから、やってくれると助かることをやってくれるようになった)

高：最高学年として自分が進んで行動しないとイケない気持ちが出てきました。

【体力・運動面】

低：体力がかなり向上しました。

低：早寝早起きの生活リズムが崩れない。

中：運動量が増えた。

高：運動会での、堂々とした姿に感動と勇気をもらいました。自信に繋がるよい機会になりました。

＜保護者の皆様からのご意見・ご要望等＞

●子どもの様子を見ていると、能生地区の小学校と統合して10人以上で授業を受けられたらと思う

→一人一人に目を向け、一人一人に寄り添った指導・支援ができるという少人数のよさもありますが、多様な考えや価値観に触れにくい、集団の中で培われる力が育ちにくい等のデメリットも考えられるのが少人数の現状かと思われます。統合につきましては、保護者の皆様や地域の方々からのお考えをお聞きし、ご意見を受けて、必要ならば、糸魚川市へ要望をあげていきたいと考えております。

●アンケートで何が分かったのか？変わるのか？どのアンケートでも分からない。

→お忙しい中、毎年ご回答いただきありがとうございます。アンケートの結果・いただいたご意見には全て目を通し、そこから成果・課題・改善の方策を学習担当、心の教育担当、健康・体力担当の各職員部会で具体的に検討しています。その結果を校内学校評価委員会で話し合い、その結果を全職員と共通理解したうえで教育活動及び学校運営に生かしています。この中能小たよりの〈成果・課題〉〈方策〉部分が、アンケート結果から分かったこと、そして検討した結果及び今後の取組になります。

今回のアンケートでは、貴重なご意見、そして温かな意見をたくさんいただきました。ありがとうございました。これからも「学びあい 助けあい 鍛えあい」を目指して、楽しく充実した学校生活を子どもたちが送れるよう、保護者の皆様、地域の皆様と協力していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。